

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年5月20日

【発行者名】 UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ
(UBS (Lux) Strategy SICAV)

【代表者の役職氏名】 チェアマン・オブ・ザ・ボード・オブ・ディレクターズ
ロバート・スティンガー (Robert Süttinger)
メンバー・オブ・ザ・ボード・オブ・ディレクターズ
イオアナ・ナウム (Ioana Naum)

【本店の所在の場所】 ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグ L - 1855、
J. F. ケネディ通り33A
(33A avenue J.F. Kennedy, L-1855 Luxembourg, Grand Duchy of
Luxembourg)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 三 浦 健
弁護士 大 西 信 治

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所外国法共同事業

【事務連絡者氏名】 弁護士 三 浦 健
弁護士 大 西 信 治
弁護士 白 川 剛 士

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03 (6212) 8316

【届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称】
UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ
- ダイナミック・インカム(米ドル)
- インカム(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ディフェンシブ(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ミディアム(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ダイナミック(米ドル)
(UBS (Lux) Strategy SICAV
- Dynamic Income (USD)
- Income (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Defensive (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Medium (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Dynamic (USD))

【届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額】

記名式無額面投資証券

ダイナミック・インカム(米ドル)

クラスP - m d i s t 投資証券

クラスP - a c c 投資証券

インカム(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシ

ブ(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム

(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック

(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

上限見込額は以下のとおりである。

ダイナミック・インカム(米ドル)

クラスP - m d i s t 投資証券

9億2,690万米ドル(約1,342億円)

クラスP - a c c 投資証券

12億6,620万米ドル(約1,833億円)

インカム(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

12億5,990万米ドル(約1,824億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシ

ブ(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

11億6,340万米ドル(約1,685億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム

(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

12億5,980万米ドル(約1,824億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック

(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

13億3,870万米ドル(約1,938億円)

- (注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2024年8月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている(ダイナミック・インカム(米ドル)クラスP - m d i s t 米ドル投資証券については92.69米ドルに1,000万口、クラスP - a c c 米ドル投資証券については126.62米ドルに1,000万口、インカム(米ドル)クラスP - a c c 投資証券については125.99米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)クラスP - a c c 投資証券については116.34米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム(米ドル)クラスP - a c c 投資証券については125.98米ドルに1,000万口およびシステムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック(米ドル)クラスP - a c c 投資証券については133.87米ドルに1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。)。
- (注2) 2025年5月20日付で、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム・サステナブル(米ドル)はUBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム(米ドル)に名称を変更した。
- (注3) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2024年8月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=144.80円)による。以下同じ。

【縦覧に供する場所】

該当事項なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年11月29日に提出した有価証券届出書(2025年2月28日に提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済)(以下「原届出書」といいます。)について、2025年5月20日付で、UBS(Lux)ストラテジー・シキャブ-インカム・サステナブル(米ドル)はUBS(Lux)ストラテジー・シキャブ-インカム(米ドル)に名称を変更し、また、投資方針等に関する事項が変更され、ファンドの設立地における目論見書が更新されましたので、これらに関する記載を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

なお、下線の部分は訂正部分を示します。

2【訂正の内容】

表紙

<訂正前>

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称

- UBS(Lux)ストラテジー・シキャブ
- ダイナミック・インカム(米ドル)
- インカム・サステナブル(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック(米ドル)
- (UBS(Lux) Strategy SICAV
- Dynamic Income(USD)
- Income Sustainable(USD)
- Systematic Allocation Portfolio Defensive(USD)
- Systematic Allocation Portfolio Medium(USD)
- Systematic Allocation Portfolio Dynamic(USD))

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額

記名式無額面投資証券

ダイナミック・インカム(米ドル)

クラスP - m d i s t 投資証券

クラスP - a c c 投資証券

インカム・サステナブル(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)

| | |
|-------------------------------------------|------------------------|
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| 上限見込額は以下のとおりである。 | |
| ダイナミック・インカム(米ドル) | |
| クラスP - m d i s t 投資証券 | |
| | 9億2,690万米ドル(約1,342億円) |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| | 12億6,620万米ドル(約1,833億円) |
| インカム・サステナブル(米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| | 12億5,990万米ドル(約1,824億円) |
| システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシ ブ(米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| | 11億6,340万米ドル(約1,685億円) |
| システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| | 12億5,980万米ドル(約1,824億円) |
| システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル) | |
| クラスP - a c c 投資証券 | |
| | 13億3,870万米ドル(約1,938億円) |

(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2024年8月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている(ダイナミック・インカム(米ドル)クラスP - m d i s t米ドル投資証券については92.69米ドルに1,000万口、クラスP - a c c米ドル投資証券については126.62米ドルに1,000万口、インカム・サステナブル(米ドル)クラスP - a c c投資証券については125.99米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)クラスP - a c c投資証券については116.34米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム(米ドル)クラスP - a c c投資証券については125.98米ドルに1,000万口およびシステムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック(米ドル)クラスP - a c c投資証券については133.87米ドルに1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。)

(注2) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2024年8月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=144.80円)による。以下同じ。

縦覧に供する場所

該当事項なし

<訂正後>

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称

UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ

- ダイナミック・インカム(米ドル)
- インカム(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ディフェンシブ(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ミディアム(米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・
ダイナミック(米ドル)
- (UBS (Lux) Strategy SICAV
- Dynamic Income (USD)
- Income (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Defensive (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Medium (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Dynamic (USD)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額

記名式無額面投資証券

ダイナミック・インカム(米ドル)

クラスP - m d i s t 投資証券

クラスP - a c c 投資証券

インカム(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシ
ブ(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム
(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック
(米ドル)

クラスP - a c c 投資証券

上限見込額は以下のとおりである。

ダイナミック・インカム(米ドル)

クラスP - m d i s t 投資証券

9億2,690万米ドル(約1,342億円)

クラスP - a c c 投資証券

12億6,620万米ドル(約1,833億円)

インカム (米ドル)

クラス P - a c c 投資証券

12億5,990万米ドル (約1,824億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル)

クラス P - a c c 投資証券

11億6,340万米ドル (約1,685億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル)

クラス P - a c c 投資証券

12億5,980万米ドル (約1,824億円)

システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル)

クラス P - a c c 投資証券

13億3,870万米ドル (約1,938億円)

(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2024年8月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている(ダイナミック・インカム(米ドル)クラス P - m d i s t 米ドル投資証券については92.69米ドルに1,000万口、クラス P - a c c 米ドル投資証券については126.62米ドルに1,000万口、インカム(米ドル)クラス P - a c c 投資証券については125.99米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)クラス P - a c c 投資証券については116.34米ドルに1,000万口、システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム(米ドル)クラス P - a c c 投資証券については125.98米ドルに1,000万口およびシステムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック(米ドル)クラス P - a c c 投資証券については133.87米ドルに1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。)

(注2) 2025年5月20日付で、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム・サステナブル(米ドル)はUBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム(米ドル)に名称を変更した。

(注3) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2024年8月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=144.80円)による。以下同じ。

縦覧に供する場所

該当事項なし

第一部 証券情報

第1 外国投資証券(外国新投資口予約権証券及び外国投資法人債券を除く。)

(1) 外国投資法人の名称

<訂正前>

UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ

- ダイナミック・インカム(米ドル)

- インカム・サステナブル(米ドル)

- システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ(米ドル)

- システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム(米ドル)

- システムティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック(米ドル)

(UBS (Lux) Strategy SICAV

- Dynamic Income (USD)

- Income Sustainable (USD)

- Systematic Allocation Portfolio Defensive (USD)

- Systematic Allocation Portfolio Medium (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Dynamic (USD)

(以下、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブを「本投資法人」、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - ダイナミック・インカム (米ドル) / インカム・サステナブル (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル) をそれぞれ「ファンド」または「サブ・ファンド」という。)

<訂正後>

UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ

- ダイナミック・インカム (米ドル)
- インカム (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル)

(UBS (Lux) Strategy SICAV

- Dynamic Income (USD)
- Income (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Defensive (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Medium (USD)
- Systematic Allocation Portfolio Dynamic (USD)

(以下、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブを「本投資法人」、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - ダイナミック・インカム (米ドル) / インカム (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル) / システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル) をそれぞれ「ファンド」または「サブ・ファンド」という。)

(注) 2025年5月20日付で、UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム・サステナブル (米ドル) はUBS (Lux) ストラテジー・シキャブ - インカム (米ドル) に名称を変更した。以下同じ。

第二部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

1 外国投資法人の概況

(2) 外国投資法人の目的及び基本的性格

a. 外国投資法人の目的および基本的性格

< 訂正前 >

(前略)

本投資法人は、投資者に対し、本投資法人への投資後に投資主名簿に投資者自身の氏名を記載された場合に投資主の権利(特に総会に参加する権利)からのみ利益を得ることに留意するよう求める。しかし、投資者が仲介機関を通じ間接的に本投資法人に投資し、かかる仲介機関が投資者のためにその名義で投資を行い、その結果として当該仲介機関が投資者のために投資主名簿に記載される場合、上記の投資主の権利は投資者ではなく仲介機関に認められることがある。従って、投資者は、投資判断を行う前に自らの投資者としての権利について助言を求めることが望まれる。

投資主は、総会において、サブ・ファンドの株式価格の違いに関係なく、保有する株式一口につき一票の議決権を有する。特定のサブ・ファンドに係る総会での議決に際して、当該サブ・ファンドの投資証券には一票の議決権が付与されている。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

本投資法人は、投資者に対し、本投資法人への投資後に投資主名簿に投資者自身の氏名を記載された場合に投資主の権利(特に総会に参加する権利)からのみ利益を得ることに留意するよう求める。しかし、投資者が仲介機関を通じ間接的に本投資法人に投資し、かかる仲介機関が投資者のためにその名義で投資を行い、その結果として当該仲介機関が投資者のために投資主名簿に記載される場合、上記の投資主の権利は投資者ではなく仲介機関に認められることがある。従って、投資者は、投資判断を行う前に自らの投資者としての権利について助言を求めることが望まれる。投資者が仲介機関を通じて申込みをする際に純資産価格の計算に誤謬および/または投資規則の不遵守および/または本投資法人レベルでのその他の誤謬があった場合、投資者が常に補償を受けられるとは限らない。投資者は、悪影響を受ける可能性のある権利に関して助言を求めるべきである。

投資主は、総会において、サブ・ファンドの株式価格の違いに関係なく、保有する株式一口につき一票の議決権を有する。特定のサブ・ファンドに係る総会での議決に際して、当該サブ・ファンドの投資証券には一票の議決権が付与されている。

(後略)

2 投資方針

(1) 投資方針

<訂正前>

(前略)

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー

投資運用会社のサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、サブ・ファンドの投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。

<https://www.ubs.com/global/en/asset-management/investment-capabilities/sustainability.html>

サステナビリティに関する年次報告

「UBSのサステナビリティ報告書」はUBSによるサステナビリティ情報開示を行うための手段である。当該報告書は毎年公表され、オープンにかつ透明性をもってUBSのサステナビリティへのアプローチおよびサステナビリティに向けた活動を開示することを目的とし、UBSの情報ポリシーおよび情報開示に関する原則を一貫して適用している。

<https://www.ubs.com/global/en/asset-management/investment-capabilities/sustainability.html>

サステナビリティ・フォーカス/インパクト・ファンド

(後略)

<訂正後>

(前略)

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー

投資運用会社のサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、サブ・ファンドの投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。

<https://www.ubs.com/global/en/assetmanagement/capabilities/sustainable-investing.html>

サステナビリティに関する年次報告

「UBSのサステナビリティ報告書」はUBSによるサステナビリティ情報開示を行うための手段である。当該報告書は毎年公表され、オープンにかつ透明性をもってUBSのサステナビリティへのアプローチおよびサステナビリティに向けた活動を開示することを目的とし、UBSの情報ポリシーおよび情報開示に関する原則を一貫して適用している。

<https://www.ubs.com/global/en/assetmanagement/capabilities/sustainable-investing.html>

サステナビリティ・フォーカス/インパクト・ファンド

(後略)

第三部 外国投資法人の詳細情報

第3 管理及び運営

1 資産管理等の概要

(5) その他

() 苦情処理、議決権行使方針および最良執行

<訂正前>

ルクセンブルグの法律および規則に従い、管理会社は、苦情処理の手続、最良執行および議決権行使方針に関する追加情報を、以下のウェブサイトに掲載する：

http://www.ubs.com/lu/en/asset_management/investor_information.html

<訂正後>

ルクセンブルグの法律および規則に従い、管理会社は、苦情処理の手続、最良執行および議決権行使方針に関する追加情報を、以下のウェブサイトに掲載する：

www.ubs.com/ame-regulatorydisclosures

3 投資主・外国投資法人債権者の権利等

(1) 投資主・外国投資法人債権者の権利

(f) 報告書を受領する権利

<訂正前>

(前略)

投資主への通知はウェブサイト (www.ubs.com/lu/en/asset_management/notifications) 上で公告され、かつ、かかる通知を電子メールで受け取る目的で電子メールアドレスを提供した投資主には、電子メールで送付できる。投資主が電子メールアドレスを提供していない場合、投資主への通知は投資主名簿に記載されている住所へ郵送される。ルクセンブルグ法またはルクセンブルグの監督官庁がその旨を定める場合または関係する販売国の法律で要求される場合も、投資主への通知は郵送されるか、またはルクセンブルグ法が許す他の方式により公告されるか、その両方により行われる。

<訂正後>

(前略)

投資主への通知はウェブサイト (www.ubs.com/ame-investornotifications) 上で公告され、かつ、かかる通知を電子メールで受け取る目的で電子メールアドレスを提供した投資主には、電子メールで送付できる。投資主が電子メールアドレスを提供していない場合、投資主への通知は投資主名簿に記載されている住所へ郵送される。ルクセンブルグ法またはルクセンブルグの監督官庁がその旨を定める場合または関係する販売国の法律で要求される場合も、投資主への通知は郵送されるか、またはルクセンブルグ法が許す他の方式により公告されるか、その両方により行われる。

第4 関係法人の状況

1 資産運用会社の概況

(4) 役員状況

UBSアセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ

<訂正前>

(2024年12月末日現在)

| 氏名 | 役職名 | 就任 | 略歴 | 所有株式 |
|-----------------------------------|-------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------|------|
| <u>マイケル・ケール</u> (Michael Kehl) | チェアマン、 ディレクター/ ボード・メンバー | 2022年1月1日 | UBSアセット・マネジメント・スイス・エイ・ジー、チューリッヒ、スイス ヘッド・オブ・プロダクト | 該当なし |

(後略)

<訂正後>

(2025年5月20日現在)

| 氏名 | 役職名 | 就任 | 略歴 | 所有株式 |
|--------------------------------------|-------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------|------|
| <u>マニユエル・ローラー</u> (Manuel Roller) | チェアマン、 ディレクター/ ボード・メンバー | 2025年3月28日 | UBSアセット・マネジメント・スイス・エイ・ジー、チューリッヒ、スイス ヘッド・オブ・ファンド マネジメント | 該当なし |

(後略)

2 その他の関係法人の概況

(2) 関係業務の概要

ノーザン・トラスト・グローバル・サービスズSE

<訂正前>

ノーザン・トラスト・グローバル・サービスズSEは、ルクセンブルグ法に規定されたファンドの運営に関与する一般的な管理事務業務に責任を負う。かかる管理事務業務には、主に1口当たり純資産価格の計算、ファンドの口座の維持および業務報告の実施が含まれる。

<訂正後>

ノーザン・トラスト・グローバル・サービスズSEは、ルクセンブルグ法に規定されたファンドの運営に関与する一般的な管理事務業務に責任を負う。かかる管理事務業務には、主に1口当たり純資産価格の計算、ファンドの口座の維持および業務報告の実施が含まれる。さらに、本投資法人の登録・名義書換事務代行者として、ノーザン・トラスト・グローバル・サービスズSEは、適用されるマネー・ロンダリング防止に関する法令を遵守するために、投資家に関し必要な情報を収集し確認を行う責任も負う。また、ノーザン・トラスト・グローバル・サービスズSEは、投資家向けの文書の作成および発送を担う顧客コミュニケーション・サービスを提供する。

別紙Aは以下のとおり更新される。

SFDR関連情報

規則 (EU) 2019/2088 第 8 条第 1 項、第 2 項および第 2 a 項ならびに
規則 (EU) 2020/852 第 6 条第 1 項において言及される金融商品に関する契約前の情報開示

商品名: UBS (Lux) ストラテジー・シキャブ・インカム (米ドル)
法人識別番号: 54930028RVK7YIH3XJ30

持続可能な投資とは、環境目的または社会目的に貢献する経済活動への投資をいう。ただし、当該投資は環境目的または社会目的を著しく害するものではないことおよび投資先企業が良好なガバナンス慣行に従っていることを条件とする。

EUタクソノミーは、規則 (EU) 2020/852 に定められる分類システムであり、**環境的に持続可能な経済活動**の一覧を定めたものである。当該規則は、社会的に持続可能な経済活動の一覧は定めていない。環境目的を有する持続可能な投資は、タクソノミーに適合している場合もあれば、適合していない場合もある。

持続可能性指標とは、金融商品により促進される環境的または社会的特性がどのように実現されるかを測定するものである。

環境的および/または社会的特性

この金融商品は持続可能な投資目的を有しているか?

はい

いいえ

以下の経済活動に対して環境目的を有する持続可能な投資を行う比率 (下限): __%

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動

社会目的を有する持続可能な投資を行う比率 (下限): __%

環境的/社会的 (E/S) 特性を促進するものであり、持続可能な投資を目的とはしていないものの、少なくとも 20% の比率で以下の持続可能な投資を行う

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

社会目的を有する持続可能な投資

E/S 特性を促進するものではあるが、持続可能な投資を行わない

この金融商品により、いかなる環境的および/または社会的特性が促進されるか?

この金融商品により以下の特性が促進される。

サブ・ファンドの純資産 (現金、現金等価物およびデリバティブを除く。) の少なくとも 70% は、(a) 環境 (E) および/または社会 (S) の特性を促進し、金融機関等を対象としたサステナビリティ関連開示規則 (以下「SFDR」という。) 第 8 条を遵守する投資戦略、またはそれと同等とみなされる投資戦略に、また、(b) サステナブル投資を目的とし、SFDR 第 9 条を遵守する投資戦略、または二酸化炭素排出量の削減を目的とし、SFDR 第 9 条を遵守する投資戦略、またはそれと同等とみなされる投資戦略に投資するものとする。

この金融商品により促進される特性を実現する目的のために指定されている ESG 参照ベンチマークはない。

- この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれの実現度を測定するためにどのような持続可能性指標が用いられるか?

上記の特性は、それぞれ以下の指標を用いて測定される。

A) ターゲット・ファンドがSFDRに基づき第8条または第9条に区分される旨の開示 (適用ある場合)。

アクティブ運用される他社のファンドを通じた投資の場合、UBSアセット・マネジメントのマネージャー・リサーチ・チームは、さらに外部のアセット・マネージャーの戦略がUBSサステナビリティ基準を充足することを確保するために当該戦略の評価を行う (「等価の原則」)。かかる戦略の評価において、UBSアセット・マネジメントは、外部のアセット・マネージャーの既存ESGリソース (ESG課題専門のリサーチおよび投資スタッフのチームの質、サステナビリティ分野における各スタッフ・メンバーの経験、企業のESGリスクの評価に使用される分析およびリサーチ・ツール、またはポートフォリオ構築におけるESGリスクの考慮に関する投資プロセスなど) に特に留意する。適用ある場合、UBSアセット・マネジメントは、その所定の目的を実際に達成する外部のアセット・マネージャーの能力に対してさらなる視点を獲得するために、外部のアセット・マネージャーのESGアプローチと自身のESGアプローチを比較する。

B) UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ投資戦略が適格性を得るためには、一もしくは複数の測定可能な環境的/社会的特性を促進し、または環境もしくは社会目的を有するサステナブル投資への投資に取り組む戦略でなければならない。当該戦略はまた、設立国における販売目録見書の本文にリンクが記載されるエクスクルージョン・ポリシーも適用しなければならない。これらの要件を満たす戦略は、UBSアセット・マネジメントにより、認知されたインパクト・フレームワーク (例: 国連の持続可能な開発目標) を用いた測定可能かつ検証可能な投資家および/または企業インパクトのあるインパクト戦略を有する「サステナビリティ・フォーカス」または「インパクト」に区分される。

● **この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資の目的は何か、また持続可能な投資は当該目的にどのように貢献するか?**

この金融商品がある程度行うことを予定している持続可能な投資の目的は、この金融商品により促進される一または複数の環境的および/または社会的特性に貢献することである。

● **この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資は、環境面または社会面での持続可能な投資の目的に著しい害を及ぼすことをいかにして避けるのか?**

UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、「著しい害を及ぼさない」(DNSH)ことを評価する際に、入手可能性と適切性に基づいて選択した主要な悪影響の指標が考慮される。

ESG指数を追跡するパッシブ運用戦略への投資の場合、指数提供者により、指数ファミリーに適する方法で「著しい害を及ぼさない」に関する指標が考慮される。

他社の運用ファンドへの投資の場合、基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネージャーは、異なる手法を用いることができる。他社の戦略は、上記のUBSアセット・マネジメントのマネージャー・リサーチの過程で「著しい害を及ぼさない」基準に関して評価される。

● **持続可能性要因への悪影響の指標はどのように考慮されているのか?**

主要な悪影響 (以下「PAI」という。)とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大な悪影響である。UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、ポートフォリオ・マネージャーは、金融商品の投資ユニバースからの除外 (エクスクルージョン) によってPAI指標を考慮する。

現在、以下のPAI指標が考慮されている。

主要な悪影響とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大なマイナスの影響である。

1.4 「化石燃料セクターで活動する企業へのエクスポージャー」

- － 一般炭の採掘および外部業者への販売またはオイル・サンドの採掘から(UBSAMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。
- － 石炭火力発電から(UBSAMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。

1.10 「国際連合グローバル・コンパクトの原則および経済協力開発機構(OECD)多国籍企業行動指針の違反」

- － 国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBSAMのステューワードシップ委員会が判断する企業は、除外される。

1.14 「非人道的兵器(対人地雷、クラスター弾、化学兵器および生物兵器)へのエクスポージャー」

- － UBSアセット・マネジメントは、クラスター弾、対人地雷もしくは化学兵器および生物兵器に関与する企業または核拡散防止条約に違反する企業には投資しない。UBSアセット・マネジメントは、非人道的兵器の開発、生産、保管、保守もしくは輸送に関与する企業またはそのような企業の過半数株主(50%以上の持株比率)である企業を非人道的兵器に関与するものとみなす。

ESG指数を追跡するパッシブ運用戦略への投資の場合、指数提供者により、指数ファミリーに適する方法で持続可能性要因への悪影響に関する指数が考慮される。

他社の運用ファンドへの投資の場合、基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネジャーは、異なる手法を用いることができる。他社の戦略は、上記のUBSアセット・マネジメントのマネジャー・リサーチの過程で悪影響に関して評価される。

持続可能な投資はOECD多国籍企業行動指針および国連ビジネスと人権に関する指導原則にどのように適合しているか? (詳細)

UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBSAMのステューワードシップ・委員会が判断する企業は、除外される。

ESG指数を追跡するパッシブ運用戦略への投資の場合、指数提供者により、指数ファミリーに適する方法でOECD多国籍企業行動指針および国連ビジネスと人権に関する指導原則の遵守が考慮される。

他社の運用ファンドへの投資の場合、基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネジャーは、異なる手法を用いることができる。他社の戦略は、上記のUBSアセット・マネジメントのマネジャー・リサーチの過程でOECD多国籍企業行動指針および国連ビジネスと人権に関する指導原則の遵守に関して評価される。

EUタクソノミーは、タクソノミー適合投資はEUタクソノミーの目的を著しく害するものであってはならないという「著しい害を及ぼさない」原則を定めており、具体的なEU基準が伴う。

「著しい害を及ぼさない」原則は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮しているこの金融商品の原投資対象のみに適用される。この金融商品の残りの部分の原投資対象は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮していない。

その他の持続可能な投資も、環境目的または社会目的を著しく害してはならない。



この金融商品は持続可能性要因への主要な悪影響を考慮するか？

× 考慮する。

主要な悪影響（以下「PAI」という。）とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大な悪影響である。UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、ポートフォリオ・マネジャーは、金融商品の投資ユニバースからの除外（エクスクルージョン）によってPAI指標を考慮する。

現在、以下のPAI指標が考慮されている。

1.4 「化石燃料セクターで活動する企業へのエクスポージャー」

－ 一般炭の採掘および外部業者への販売またはオイル・サンドの採掘から（UBSAMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく）一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。

1.10 「国際連合グローバル・コンパクトの原則および経済協力開発機構（OECD）多国籍企業行動指針の違反」

－ 国際連合グローバル・コンパクト（UNGC）の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBSAMのステュワードシップ委員会が判断する企業は、除外される。

1.14 「非人道的兵器（対人地雷、クラスター弾、化学兵器および生物兵器）へのエクスポージャー」

－ UBSアセット・マネジメントは、クラスター弾、対人地雷もしくは化学兵器および生物兵器に関与する企業または核拡散防止条約に違反する企業には投資しない。UBSAMアセット・マネジメントは、非人道的兵器の開発、生産、保管、保守もしくは輸送に関与する企業またはそのような企業の過半数株主（50%以上の持株比率）である企業を非人道的兵器に関与するものとみなす。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」に記載されている。

ESG指数を追跡するパッシブ運用戦略への投資の場合、指数提供者により、指数ファミリーに適する方法で持続可能性要因への悪影響に関する指数が考慮される。

他社の運用ファンドへの投資の場合、基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネジャーは、異なる手法を用いることができる。他社の戦略は、上記のUBSAMアセット・マネジメントのマネジャー・リサーチの過程で悪影響に関して評価される。

考慮しない。



この金融商品が用いる投資戦略はどのようなものか？

本サブ・ファンドは、その投資目的を達成するために基礎となる投資戦略を利用する。サステナブル投資は、以下の9つのESGカテゴリーの1つまたは複数を含むものとする。

a) ESGエンゲージメント株式：

本アプローチにおいては、企業の経営陣がESG課題および機会に関するパフォーマンスの向上を働きかけるために、アセット・マネージャーが株主として積極的に関与する。

b) ESGエンゲージメント・ハイ・イールド・ボンド：

本アプローチにおいては、企業の経営陣にESG課題および機会に関するパフォーマンスの向上を働きかけるために、アセット・マネージャーが債券保有者として、BBB-を下回る格付けが付与された発行体の債券のポジションを積極的に取る。

c) 国際開発金融機関債：

世界銀行などの国際開発金融機関（以下「MDB」という。）が発行する債券。MDBは、持続的な経済成長のための資金調達を目的として、複数の国の政府から支援を受けている。

d) ESGテーマ別株式：

特定の環境もしくは社会的な難題に取り組んでいる製品およびサービスを販売している企業および/または単一のESG要因（例えば、男女共同参画等）の管理に特に優れた事業を行っている企業の株式

e) ESG改善型株式：

様々な重大なESG課題の管理を改善している企業の株式

f) ESGリーダー株式：

様々な重大なESG課題を管理し、競合他社よりも優れたESGの機会を捉えている企業の株式

g) グリーン、ソーシャルおよびサステナビリティ・ボンド：

環境プロジェクト、社会福祉機関またはサステナブル発行体に充当する資金を調達するための債券。このような種類の債券の発行体には、一般的に企業、地方自治体、開発銀行が含まれる。

h) ESGリーダー債：

様々な重大なESG課題を管理し、競合他社よりも優れたESGの機会を捉えている企業の債券

i) エマージング・マーケット・サステナブル・ファイナンス：

新興市場に民間資金を提供し、開発金融機関の努力をサポートする債券および通貨ソリューションを組み込んだ戦略。

ESGインテグレーション

ポートフォリオ・マネージャーは、基礎となる投資戦略における配分時にESGインテグレーションを考慮に入れる。UBSが運用する基礎となる戦略の場合、ポートフォリオ・マネージャーは、ESGインテグレーションに関する以下のリサーチに基づきESG統合資産を特定する。外部により運用される戦略の場合、ESG統合資産は、UBSアセット・マネジメントのマネージャー・リサーチの過程で特定される。

UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、ESGインテグレーションは、リサーチ・プロセスの一環として重大なESGリスクを検討することにより行われる。ESGインテグレーションにより、基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネージャーが投資決定に影響を及ぼす財務上関連する持続可能性要因を特定し、投資決定を実行に移す際にESGに関する検討事項を組み入れることができるようになり、またESGリスクを体系的にモニタリングし、リスク選好度およびリスク制約と比較することが可能となる。ESGインテグレーションは、有価証券の選定、投資に対する確信度およびポートフォリオの組入比率を通じてポートフォリオ構築にも役立つ。

投資戦略は、投資目的およびリスク許容度などの要素に基づく投資決定を導く。

企業発行体の場合、このプロセスでは投資決定に影響を及ぼす可能性がある財務上関連する要因をセクター毎に特定するUBS内部のESG重大問題の枠組みを利用する。財務上の重要性に対するかかる姿勢により、企業の財務パフォーマンス、ひいては投資リターンに影響を及ぼす可能性がある持続可能性要因をアナリストが重視することが確保される。また、ESGインテグレーションにより、企業のESGリスク・プロファイルを改善し、これにより企業の財務パフォーマンスに対してESG上の問題が及ぼす潜在的な悪影響を軽減するためのエンゲージメントの機会を見出すことができる。基礎となる投資戦略のポートフォリオ・マネジャーは、重大なESGリスクがある企業を識別するために、内部および外部の複数のESGのデータ・ソースを組み合わせたUBS内部のESGリスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスにESGリスクが組み入れられるようにするため、次に取るべき行動の決定に役立つリスク・シグナルが投資戦略のポートフォリオ・マネジャーに対してESGリスクを明確に示す。

企業以外の発行体の場合、投資戦略のポートフォリオ・マネジャーは、重要なESG要因に関するデータを統合した定性的または定量的なESGリスク評価を適用する。

重大なサステナビリティ/ESGに関する検討事項の分析には、とりわけカーボン・フットプリント、健康および福祉、人権、サプライ・チェーンの管理、顧客の公平な取扱いならびにガバナンス等の様々な側面を含めることができる。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」に記載されている。

- **この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれを実現するための投資対象を選定するために用いられる投資戦略の結合要素はどのようなものか?**

この金融商品により促進される一または複数の特性を実現するための投資対象を選定するため、投資戦略の以下の一または複数の結合要素が用いられる。

サブ・ファンドの純資産(現金、現金等価物およびデリバティブを除く。)の少なくとも70%は、(a)環境(E)および/または社会(S)の特性を促進し、SFDR第8条を遵守する投資戦略、またはそれと同等とみなされる投資戦略に、また、(b)サステナブル投資を目的とし、SFDR第9条を遵守する投資戦略、または二酸化炭素排出量の削減を目的とし、SFDR第9条を遵守する投資戦略、またはそれと同等とみなされる投資戦略に投資するものとする。

戦略は、「この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれの実現度を測定するためにどのような持続可能性指標が用いられるか?」の項に概説される評価により適格なものとして区分される。四半期末に、当該四半期のすべての営業日における価額の平均値を用いて、特性、持続可能な投資対象の最低比率ならびに当サブ・ファンドが推進する環境的および/または社会的特性を満たすために利用される投資対象の最低比率が計算される。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー:

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」に記載されている。

- **当該投資戦略を適用する前に考慮される、投資範囲を縮小するための確約された最低比率はどのくらいか?**

該当なし。

良好なガバナンス慣行には、健全な経営体質、従業員関係、スタッフの報酬および税務コンプライアンスが含まれる。

● 投資先企業の良いガバナンス慣行を評価するための方針とはどのようなものか？

本サブ・ファンドは、その投資目的を達成するために基礎となる投資戦略を利用する。

UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、良好なコーポレート・ガバナンスが、対象ポートフォリオ・マネジャーの投資戦略に組み込まれる。良好なガバナンスの評価には、取締役会の構造および独立性、報酬の整合性、所有および経営の透明性ならびに財務報告に関する考慮が含まれる。UBSアセット・マネジメントが運用するアクティブ株式および債券戦略への投資の場合、ポートフォリオ・マネジャーは、重大なESGリスクがある企業を識別するために、内部および認められた外部プロバイダーからの複数のESGのデータ・ソースを組み合わせた独自のESGリスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスにESGリスクが組み入れられるようにするため、次に取るべき行動の決定に役立つリスク・シグナルがポートフォリオ・マネジャーに対してESGリスクを明確に示す。

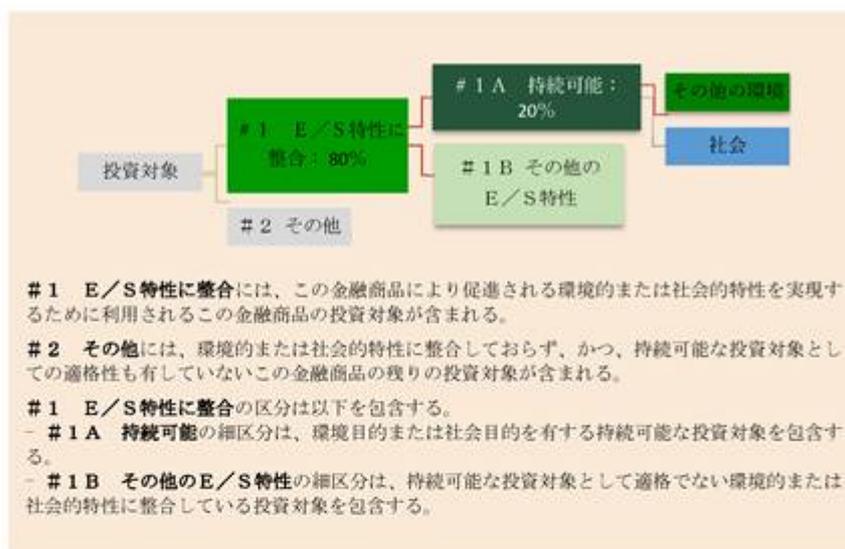
ESG指数を追跡するパッシブ運用戦略への投資の場合、指数提供者により、指数ファミリーに適する方法で投資先企業の良好なガバナンス慣行が評価される。

他社の運用ファンドへの投資は、UBSアセット・マネジメントのマネージャー・リサーチの過程で評価される。UBSアセット・マネジメントは、他社のアセット・マネージャーの戦略がUBSサステナビリティ基準を充足することを確保するために当該戦略の評価を行う（「等価の原則」）。



この金融商品について予定されている資産配分はどのようなものか？

この金融商品により促進される環境的および/または社会的特性を満すために利用される投資対象の最低比率は80%である。この金融商品の持続可能な投資対象の最低比率は20%である。



● この金融商品により促進される環境的または社会的特性はデリバティブの利用によりどのように実現されるか？

この金融商品により促進される特性の実現のためにデリバティブは利用されない。デリバティブは、主としてヘッジ目的および流動性管理目的のために利用される。

資産配分とは、特定の資産への投資の割合を説明するものである。

タクソミー適合活動は、以下のものに占める割合として表される。

- 投資先企業のグリーン活動による収益の割合を反映した**売上高**
- 投資先企業が行うグリーン投資（例えば、グリーン経済への移行のためのもの）を示す**資本的支出**（CapEx）
- 投資先企業のグリーン事業活動を反映した**事業運営費**（OpEx）

この金融商品により促進される特性の実現のためにデリバティブは利用されない。デリバティブは、主としてヘッジ目的および流動性管理目的のために利用される。



環境目的を有する持続可能な投資は少なくともどの程度EUタクソミーに適合しているか？

タクソミー規則第9条に定められる一または複数の環境目的に関するデータならびにこの金融商品の原投資がタクソミー規則第3条に基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動に対してどのようにおよびどの程度行われているか（以下「タクソミー適合投資」という。）に関するデータは収集することができていない。そのことから、この金融商品のタクソミー適合投資は0%である。

● この金融商品はEUタクソミーを遵守する化石燃料ガスおよび／または原子力に関連する活動に投資するか¹？

投資する。



化石燃料ガスに投資する。



原子力に投資する。

投資しない。

¹ 化石燃料ガスおよび／または原子力に関連する活動は、それが気候変動の抑制（以下「気候変動緩和」という。）に寄与し、EUタクソミーの目的を著しく害するものではない場合にのみ、EUタクソミーを遵守する。左欄外の注記を参照すること。EUタクソミーを遵守する化石燃料ガスおよび原子力の経済活動に関する完全な基準は、委員会委任規則（EU）2022/1214 に定められる。

EUタクソミーを遵守するために、化石燃料ガスに関する基準には、排出抑制および2035年末までの再生可能エネルギーまたは低炭素燃料への転換が含まれる。

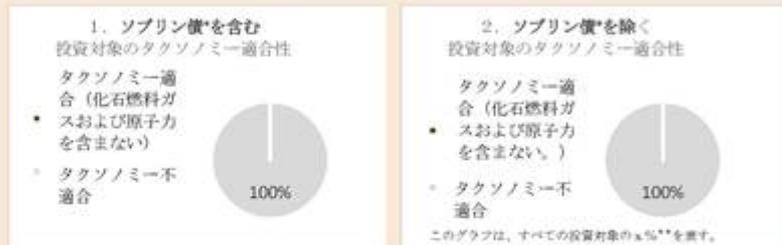
原子力については、包括的な安全および廃棄物管理の規則がその基準に含まれる。

イネープリング活動とは、他の活動が環境目的に大きく貢献することを直接的に可能にするものである。

トランジショナル活動とは、低炭素の代替手段がまだ利用可能でない活動であり、とりわけ温室効果ガス排出水準が最高のパフォーマンスに相当しているものである。

は、EUタクソミーに基づく環境的に持続可能な経済活動の基準を考慮していない、環境目的を有する持続可能な投資である。

以下の2つのグラフは、EUタクソミーに適合している投資対象の最低割合を録(本書に該当箇所はありません。)で示している。ソブリン債*のタクソミー適合性を判断する適切な方法がないため、1つ目のグラフは、この金融商品のソブリン債を含むすべての投資対象に関してタクソミー適合性を示しているが、2つ目のグラフは、この金融商品のソブリン債以外の投資対象に関してのみタクソミー適合性を示している。



*これらのグラフの解釈上、「ソブリン債」はすべてのソブリン・エクスポージャーで構成される。

** 関連しない(タクソミー適合の投資対象がない)ため、割合は記載していない。

● トランジショナル活動およびイネープリング活動への投資の最低割合はどのくらいか?

トランジショナル活動およびイネープリング活動への投資の最低比率に対する確約はない。



EUタクソミーに適合していない、環境目的を有する持続可能な投資の最低割合はどのくらいか?

この金融商品による持続可能な投資は、環境目的もしくは社会目的またはその双方に貢献する。この金融商品は、予め定められた環境目的または社会目的の組み合わせを確約するものではなく、そのため、EUタクソミーに適合していない、環境目的を有する持続可能な投資の最低割合は設定されていない。この金融商品がタクソミー適合ではない環境的に持続可能な投資対象に投資する場合、これはタクソミー適合性を決定するのに必要なデータが欠如しているためである。



社会的に持続可能な投資の最低割合はどのくらいか?

この金融商品による持続可能な投資は、環境目的もしくは社会目的またはその双方に貢献する。この金融商品は、予め定められた環境目的または社会目的の組み合わせを確約するものではなく、そのため、社会的に持続可能な投資の最低割合は設定されていない。



どのような投資対象が「#2 その他」に含まれるのか、かかる投資対象の目的は何か、また最低限の環境セーフガードまたは社会セーフガードはあるのか?

流動性管理およびポートフォリオ・リスク管理の目的のための現金および無格付商品が「#2 その他」に含まれる。無格付商品には、環境的または社会的特性の実現度の測定に必要なとされるデータを入力することができない有価証券も含まれることがある。



この金融商品がこの金融商品の促進する環境的および/または社会的特性に整合しているかを判断するための参照ベンチマークとして特定の指数が指定されるのか？

この金融商品がこの金融商品の促進する特性に整合しているかを判断する目的のために指定されているESG参照ベンチマークはない。

参照ベンチマークとは、金融商品が当該金融商品の促進する環境的または社会的特性を実現するかを測定するための指数である。

- **参照ベンチマークは、この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれとどのように継続的に整合するのか？**

該当なし。

- **投資戦略と指数の手法の整合性はどのように継続的に確保されるのか？**

該当なし。

- **指定指数は、関連する広範な市場指数とどのように異なるのか？**

該当なし。

- **指定指数の計算に用いられる方法についてはどこを参照すればよいか？**

該当なし。



より詳細な商品特有の情報をオンラインで探す場合、どこを参照すればよいか？

より詳細な商品特有の情報は、ウェブサイト (www.ubs.com/funds) で参照することができる。

別紙 B

交付目論見書の概要

< 訂正前 >

- U B S (L u x) ストラテジー・シキャブ
 - ダイナミック・インカム (米ドル)
 - インカム・サステナブル (米ドル)
 - システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル)
 - システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル)
 - システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル)
- (後略)

< 訂正後 >

- U B S (L u x) ストラテジー・シキャブ
- ダイナミック・インカム (米ドル)
- インカム (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ディフェンシブ (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ミディアム (米ドル)
- システマティック・アロケーション・ポートフォリオ・ダイナミック (米ドル)

(注) 2025年5月20日付で、U B S (L u x) ストラテジー・シキャブ - インカム・サステナブル (米ドル) は U B S (L u x) ストラテジー・シキャブ - インカム (米ドル) に名称を変更しました。以下同じです。

(後略)